

平成24年度 第16回 教育研究評議会議事概要

日 時 平成25年1月18日（金）14:30～15:55
場 所 事務局特別会議室
出席者 別紙のとおり

議事に先立ち、安田理事（総務・財務担当）から、着任の挨拶が行われた。

議 題

1. 国立大学法人福岡教育大学規程の一部改正について （議題1の別紙） (1) 国立大学法人福岡教育大学運営企画室規程（一部改正）

理事（総務・財務担当）から、理事の業務分担の変更に伴い、企画・評価室の室長を変更するため、国立大学法人福岡教育大学運営企画室規程を一部変更することについて、資料に基づき、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

2. 中期計画の変更について （議題2の別紙）

理事（総務・財務担当）から、教育学部の教員養成に係る分野の入学定員を平成25年度から変更することに伴い、中期計画の一部変更を文部科学省に提出することについて、資料に基づき、説明があった。

審議の結果、了承し、経営協議会の議を経て、役員会へ付議することとした。

3. 「国際交流・留学生支援推進本部」の設置について （議題3の別紙）

理事（国際交流・社会連携担当）から、国際交流・留学生支援のためのプロジェクトの企画立案から実施までを専門的に行う組織として「国際交流・留学生支援推進本部」（以下「推進本部」という。）を設置し、「国際交流コーディネーター」を配置することについて、資料に基づき、説明があった。

評議員から、国際共生講座の留学生担当教員が推進本部に入ることについて、2月の講座会議で審議予定であり、未承諾であるが、本議題が承認されることにより、講座での審議結果が縛られることはないと考えて良いかとの質問があり、理事（国際交流・社会連携担当）から、4月からの推進本部設置を目指しているため、設置についての審議と併行して留学生担当教員及び所属講座の意思確認を行っているが、縛られることはない旨、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

4. 教育学部長候補者の承認について （議題4の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、現教育学部長の任期が平成25年3月31日をもって満了することに伴い、長山 芳子教授を次期教育学部長として再任することについて、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

5. 平成25年度学事日程の一部変更について （議題5の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、平成25年度学事日程について、9月の観察参

加の日程に不都合があったため、一部変更することについて、資料に基づき、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

6. 附属学校校長適任者の承認について

(議題6の別紙)

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、現附属学校長の任期が平成25年3月31日をもって満了することに伴い、清水 知恵教授を次期附属福岡小学校長に、木内 隆生教授を次期附属小倉小学校長及び附属小倉中学校長に、和田 圭壮教授を次期附属久留米小学校長に、江頭 理江教授を次期附属久留米中学校長とすることについて、資料に基づき、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

報告事項

1. 平成24年3月卒業者の就職状況について

(報告事項1の資料)

(1) 国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)等の平成24年3月卒業者の就職状況について

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、平成25年1月9日に文部科学省が報道発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)等の平成24年3月卒業者の就職状況について」及び本学が置かれている厳しい状況の分析について、資料に基づき、報告があった。

副学長(学術情報担当)から、ミッションの再定義で提案された目標値、福岡県小学校採用試験合格者の占有率5割を実現するには、平成26年度試験において、合格者が200人を超える必要があり、今年度掲げている180プランでは既に足りなくなることで、今後の採用数の動向を予測すると平成25年度入学生が受験する平成29年度採用試験の実績が本学の将来に大きな影響を及ぼすと考えられることなど、今後の目標値等に関する課題について、資料に基づき、説明があった。

副理事(キャリア開発担当)から、平成24年度卒業予定者の合格者数、受験者数が東京・大阪の2次募集に伴い若干増加していることが、資料に基づき報告されるとともに、今後の私立学校教員、非常勤教員等の採用数により最終的な採用者の数値が確定するので、引き続き各教員による指導をお願いしたい旨、発言があった。

(2) 同窓会からの1月10日付要望書

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、本学学生の正規教員合格率が、本学の掲げる目標値45%の達成に程遠いことについて、同窓会長から、更なる向上策を図り、本学の使命と役割を果たすよう、平成25年1月10日付で要望書が提出された旨、資料に基づき、報告があった。

(1)(2)に関し、学長から、以下のような発言があった。

本学の就職状況は依然厳しく、同窓会からの要望書も厳しい指摘となっている。就職率は本学の存亡に関わることであるため、高い目標をもって指導に当たってもらいたい。

また、今年度だけのことではなく、教育の質向上など、全ては関連していくことであるので、次年度入学生についても、志を立て、立派な教育者となるように指導して行ってほしい。

教育学部長から、以下のような意見等があった。

教員採用率向上に関して、副理事(キャリア開発担当)及び各講座の就職担当者とは会合をもち、就職担当者連絡会議の今後の在り方、採用率向上に向けての方針と具体的対応策の検討を行っている。

就職担当教員の中から、ひとり一人の学生を教育者として育てた結果、教員採用率に繋がるべきであり、人を育てる話と率としての見方には少しギャップがあり、率向上の話ばかりが先立つ

と教員の教育へのモチベーションが上がらないので、目の前の学生をより良く、ひとりでも多く育てるというスタンスが必要であるという意見があった。

戦略として考えるときは、率による視点が必要だが、4年間で教師を目指す学生のモチベーションを高め、かつ、指導教員のモチベーションを高めるために、率ではないところでも働きかけたいと思っているので、ご理解・ご協力いただきたい。

学長から、以下のような発言があった。

そのようなことが実現されることを期待する。

教育は、確かに採用率だけではない。

しかし、文部科学省の中には、その数値で存在価値を計るロジック（ほとんどの都道府県に一国立教員養成大学を置くのは、当該都道府県の教員の多く（5割が提案されている。）を養成するため。）があり、「ミッションの再定義」の中で各課程毎の採用率、福岡県教員中の本学出身教員数の提出が求められており、採用率でなければ、本学卒業生が打たれ強い、早期離職しない、格別優れている等の証拠立てを必要とされていることは押さえておかなければいけない。

副理事（キャリア開発担当）から、教員採用試験合格者の中に、事前研修会等へ遅刻、無断欠席した事例があったことが報告されており、本学のブランド、今後の採用にも影響を与えるおそれがあるので、指導教員には、合格までではなく、その後のことまで危機感を持って指導してほしい旨、発言があった。

監事から、以下のような意見等があった。

- ・採用にあっては、面接時の挨拶などの礼儀も重視される。礼儀は、採用面接の時に急にできるものではなく日常的教育が重要なので、まず、本学の教員自身が礼節をもっているかを振り返り、教育に当たるべきである。

- ・非常勤講師の経験上、本学は日々の授業の規律が甘いと感じるところがある。

副学長（教育組織・カリキュラム改革担当）から、平成26年度福岡県小学校教員採用試験合格者200人を目指す必要があるのならば、採用試験志願時に受験者が少ないとか、試験後に合格者数や占有率について議論をするのでは遅いので、現在、各講座にはどれだけの受験希望者がいるのか、合格の見込みはどの程度あるのかといった調査・集計を事前に講座やキャリア支援センターで行ったうえで、それぞれの見込み数を積み上げ、各講座の目標値を示して取り組んで行くべきではないかとの意見があった。

その他

1. 平成24年度補正予算について

理事（総務・財務担当）から、1月25日に閣議決定された補正予算に基づき、①設備整備費補助金事業として、理科教育支援システム整備、図書館の集密書架及び25メートル屋内プールの事業予算、②施設整備事業として、図書館の改修（教育心理教棟含む）及び附属学校3団地の屋外給水・ガス管改修事業、③国家公務員の給与臨時特例法に準じた給与削減を求める閣議決定に基づき、平成24年4月から平成25年3月までの給与減額算出額を平成24年度の運営費交付金から減額すること、の3つの内示があったことについて、報告があった。

学長から、以下のような発言があった。

今回10億を超える予算の内示は、関係者の努力と計画的に申請し続けたこと、また本学が教育組織の見直しを行うなど、その使命を一層明確にする努力をしたことが予算獲得に繋がったのではないかと考える。

また、理科教育支援システム整備費などは、獲得した関係者や講座だけの使用に留めず、是非、全学的に有効に使用し、更に次の教育研究経費獲得に活かして欲しい。

2. 副免実習の時期について

学長から、例年4年次の6月期に行われている副免実習について、教員採用試験の時期と重なり学生の負担が大きいため、9月・10月への移行について検討を開始したいと考えている旨、説明があった。

3. 講演会への出席について

学長から、国立大学法人等監事協議会九州支部会に併せて、2月14日の13時から14時30分、本学特Ⅱ教室において開催される、中央大学監事 鈴木康洋氏による「今求められる大学改革」の講演について、ミッションの再定義に絡み重要なテーマの講演であるので、是非、教育研究評議会の委員だけではなく、事務職員及び大学教員に参加してほしい旨、案内があった。

4. 次回の開催日程について

次回の会議を、平成25年2月15日（金）14：30～、事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- 議題1 (1) の別紙
 - 議題2 の別紙
 - 議題3 の別紙
 - 議題3 の資料1
 - 議題3 の資料2
 - 議題5 の別紙
 - 議題6 の別紙

 - 報告事項1 (1) の資料
 - 報告事項1 (1) の参考資料
 - 報告事項1 (1) の参考資料2
 - 報告事項1 (2) の資料
- ・国立大学法人福岡教育大学運営企画室規程新旧対照表
 - ・国立大学法人福岡教育大学の中期計画新旧対照表
 - ・中期目標・中期計画の変更に係る書類の提出等について
 - ・「国際交流・留学生支援推進本部」の設置について
 - ・国際交流の推進に関する基本方針
 - ・「国際交流・留学生支援センター」及び「国際交流コーディネーター」の設置について（具申）
 - ・平成25年度 学事日程（変更案）
 - ・福岡教育大学附属学校校長適任者の推薦について

 - ・国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）等の平成24年3月卒業者の就職状況について（文部科学省）
 - ・福岡県小学校教員採用における本学合格者数の目標値について
 - ・平成24年度卒業・修了見込者就職内定状況＝課程等別（平成25年度公立学校教員採用試験1次・2次試験合格状況）
 - ・正規教員合格率の向上に関する要望書（福岡教育大学同窓会）